

APUにおける生成系 AI の利活用について

学生の皆さん

2023 年度春semesterが始まって1ヶ月ほどが経過しましたが、学生の皆さんはどのような学生生活を送られているでしょうか。

今年入学された新入生の皆さんは高校時代の大半をコロナ禍の中で過ごしたこともあり、APUでの大学生活への期待に胸を膨らませて入学したことと思います。

2 回生以上の皆さんは APU の多文化環境での活気に溢れた大学生活に期待して入学したものの、コロナ禍によりキャンパスでの交流も活発に行うことができず、海外留学をはじめとした様々なプログラムが中止となり、思い描いた大学生活をこれまで送ることができなかったという人たちも少なくないと思います。

APU は 2023 年度に開学以来初めてとなる新学部「サステナビリティ観光学部」を開設し、2023 年度を「第 2 の開学」の年として位置づけ、新たなスタートを切りました。

APU でこれから学んでいく学生の皆さんには、それぞれが APU に入学した理由、目標、将来の夢などについて再度向き合い、この「第 2 の開学」の年の過ごし方について考えてもらいたいと思います。

皆さんもご存知のとおり、オープン AI 社の ChatGPT が公開され、利用者数は既に 1 億人を超えていると言われていています。米国スタンフォード大学の学生の 15% 以上が既に ChatGPT を使用しているとの報道もあり、APU 学生の中にも ChatGPT を使ったことがあるという人もいないのではないかと思います。ChatGPT に代表されるような AI 技術の進歩は目覚ましく、これからは様々な AI 技術が我々の生活に普及してくることは間違いありません。

AI はこれまで人間が行ってきた様々な活動をより短時間かつ正確に行うことができ、我々がより高度で知的な活動を効率的に行うことを可能にしてくれます。

これからの社会において AI 技術がさらに急速に発展していくことは容易に想像することができます。今後は世界中の様々な組織がより有効的に AI を活用する方法を模索し、追求していくことが想定されます。

同時に AI 技術の活用についてはネガティブなインパクトをもたらす可能性があるとの懸念もあります。例えば、AI は生成する文章に含まれる情報が正しいものであるかの判断をすることができません。生成系 AI によって作られた文章は誤った情報が含まれている可能性があり、誤った知識の形成に繋がってしまう危険性があります。

加えて、生成系 AI に入力（送信）した情報は、蓄積され学習される、また、他者からその情報を引き出され、利用される可能性もあります。個人情報や秘匿性の高い情報や研究デ

ータ等を入力することは非常に危険です。

AI を適切に利用していくためには、利用するユーザーにも高い倫理観とリテラシーが求められます。大学としても学生の皆さんが大学で学ぶ上で必要な倫理観やリテラシーを醸成するための取組を実施していきますので、学生の皆さんについても APU へ入学した目的、将来の夢や目標、そして自分自身がどのような人材に成長して APU を卒業したいのかといったことについてあらためて確認し、これからの大学生活における AI の利活用について良く考えるようにしてください。

なお、AI の利活用についてはそれぞれの学問分野によって適切な利用方法に差異があります。AI の利活用について授業内で指示がある場合は、教員の指示に従うようにしてください。

また、生成系 AI による回答をそのまま試験・レポート課題等に用いることは、著作権侵害等の問題につながる可能性があるだけでなく、皆さん自身の学びや成長につながりません。

「第2の開学」を迎えた APU において学生の皆さんが実り多き大学生活を送ることを期待しています。

2023年5月12日

立命館アジア太平洋大学

教学部長 MEIRMANOV Serik